

長子配布

令和2年5月18日

保護者様

唐津市立浜崎小学校

校長 武 富 貞 祐

通知表「あゆみ」配布時期・回数の変更について（提案）

昨年度末からの新型コロナウイルス感染拡大で、いつもの生活が送れない日が続いています。保護者のみなさんにおかれては、仕事に影響が出たり、子どもを家庭で見る時間が増えたりと大変ご苦労されたのではないのでしょうか。最近、新たな感染者数が全国的に減少し、経済活動も徐々に戻ってきています。このまま感染が穏やかになり、通常の生活に近づいて欲しいものです。

子ども達も、新年度がスタートしてわずか2週間で臨時休校となり、通常の授業や行事ができないなど大きな影響を受けています。短い期間で刻々と変わる状況の中で、子ども達や保護者のみなさんのためにできるベストなことを、全職員で知恵を絞り、対応・対策を工夫して実施しているところです。そのことについては、保護者のみなさんにご理解とご協力いただき大変感謝しています。

さて、新型コロナウイルス感染拡大に伴い**臨時休校が長期化したこと、感染がなかなか収まらないこと**を受けて、**通知表「あゆみ」配布時期・回数の変更を検討しています**。変更内容と理由は、以下の通りです。（ 学期の変更はありません。3学期制のままです。 ）

1 変更内容

【変更前】各学期に評価して、**学期末ごとに3回配布**

【変更後】1年間を半分に分けて評価して、**前期(9月末)・後期(3月末)2回配布**

2 変更理由

① **学期末ぎりぎりまで授業を進めることができる。**

② **評価材料（学習量）が十分に確保でき、適正な評価がしやすい。**

※ 臨時休校で授業が約4週間できていませんが、前期・後期の評価であれば適正な評価に必要な学習量が確保できます。また、万が一、感染流行の第2波で再度臨時休校になっても前期・後期であれば対応できます。

なお、提案のように通知表「あゆみ」の配布時期・回数を変更した場合に、当然デメリットも出てくると思います。**想定されるデメリットに対して、次のような対応策(案)を考えています。**

【 デメリット 】

- ・ 各学期の評価（成績）を子ども自身や保護者の方が確認できない。
- ・ 各学期の担任の所見（児童の学習や生活などについての様子）を読むことができない。

【 対応策（案） 】

- 1 学期分は、夏休みに個人面談を実施し、評価テストの結果を資料としてお渡しする。また、個人面談の折に、1 学期の学習や生活の様子について直接お伝えする。
- 2 学期分は、学期末懇談等を活用してお伝えする。

学校としては、前期・後期 2 回に分けて評価し、通知表「あゆみ」を配布することが適正な評価につながり、それが子ども達や保護者のみなさんにとってよいことと考えています。

このことについて、**保護者のみなさんにうかがった上で決定したい**と思います。（15 日に話し合いをした折に、この日出席された新旧PTA会長、新副会長様に相談して、賛同をいただいています。）

そこをお願いします。

保護者のみなさんのご意見を **5 月 1 8 日(月)に長子へ配布した「別紙；通知表「あゆみ」配布時期・回数の変更についてのアンケート**」への回答でお聞かせください。アンケートへのご協力、よろしくお願いいたします。

- アンケート配布 . . . 5 月 1 8 日（月）長子に配布
- アンケート提出 . . . 5 月 2 2 日（金）締切
- アンケート結果報告 . . . 5 月 2 7 日（水）までに報告

「判断基準」※ 次の①②両方の基準を満たした場合、変更への賛成多数と判断します

- ①アンケート提出率 50%以上 ②提出されたアンケートの 2/3 以上が「賛成」

※「判断基準」は、浜崎小 P T A の「総会成立」「会則の変更」の規約に準じています。

令和2年5月22日(金)締切

通知表「あゆみ」配布時期・回数の変更について(アンケート)

保護者名 _____

長子児童名 (年 組) _____

通知表「あゆみ」の配布時期・回数の変更について、どちらかご意見にあてはまる方に○をつけて下さい。 () 変更賛成 ・ () 変更反対

このことについて、ご意見等を自由にお書きください。また、これまでの本校の新型コロナウイルス対策について「よかった点」「よくなかった点」もお聞かせください。今後の参考にさせていただきます。

「別紙；通知表「あゆみ」の配布時期・回数の変更について（提案）」から

1 変更内容

【変更前】各学期に評価して、**学期末ごとに3回配布**

【変更後】1年間を半分にわけて評価して、**前期(9月末)・後期(3月末)2回配布**

2 変更理由

- ① 学期末ぎりぎりまで授業を進めることができる。
- ② 評価材料（学習量）が十分に確保でき、適正な評価がしやすい。

※ 臨時休校で授業が約4週間できていませんが、前期・後期の評価であれば適正な評価に必要な学習量が確保できます。また、万が一、感染流行の第2波で再度臨時休校になっても前期・後期であれば対応できます。

【 デメリット 】

- ・ 各学期の評価（成績）を子ども自身や保護者の方が確認できない。
- ・ 各学期の担任の所見（児童の学習や生活などについての様子）を読むことができない。

【 対応策（案） 】

1学期分は、夏休みに個人面談を実施し、それまでの成績を資料としてお渡しする。また、個人面談の折に、1学期の学習や生活の様子について直接お伝えする。